

<スクールアルバム>

全校生徒でスポーツレク大会
ドロケイ、ドッジボール、しっぽ取り、リレー



合同バイブルタイム
ウクライナのためにお祈りしました



畑に植えた大豆の成長を
観察しました



小学部・新入生歓迎会
お菓子入れをデコレーション
その後、ログハウスロッキーへ



中学部・新入生歓迎会
スポッチャで運動三昧！



高等部・新入生歓迎会
公園で草野球。ホーム
ラン打てた？



高等院・新入生歓迎会
葉山で美術館＋
カフェタイム。大人！



お願い・ご報告

- 5月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- 7月は、7日(木) 歯科検診、9日(土) 本郷駅前フェスティバル、16日(土) 保護者・スタッフ清掃、23日(土) 野七里フェスティバルがあります。スケジュールを確認してください。
- スクールバスが新しくなりました。安全な運行のためにお祈りください。
- 実行委員会主体のボランティア活動として、エコキャップとベルマークの回収を行っています。ぜひ、ご家庭で集め、スクールへお持ちください。ご協力よろしくお祈りします。
- 奉仕総合の授業でSDG sをテーマとして扱っています。5月、6月は2つ目の目標「飢餓をゼロに」を中心に学習しています。ご家庭でもお子さんと話し合ったり、生活の中で取り組んでいただき、ご協力くださるとありがたいです。
- この度、日本郵便株式会社 2022年度年賀寄附金の助成を受けて、屋外・防雨型時計、学習机・椅子、卓上折りたたみシールド、折りたたみヘルメットを購入しました。また5月26日に第1回特別支援研修会を実施しました。

今月のみことば

「こうして彼は立ち上がって、自分の父のもとへ向かった。ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけした。」ルカ 15:20

” And he arose and came to his father. But when he was still a great way off, his father saw him and had compassion, and ran and fell on his neck and kissed him.” Luka 15:20

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈禱課題

1. スクール生一人ひとりが神さまの愛を受け取り成長していけるように。
2. スクール関係者の皆さんがコロナ感染やすべての災いから守られ祝福されるように。
3. 宿泊リトリートの時を期待して準備し、多くの恵みを受け取ることができるように。
4. 高等院 HOPE や学童もそれぞれ祝福されるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 6月号

2022.Jun. 1
VO | .181

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10
TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「主の道に歩むとは何か」

高等部担任 山神 舞

新年度も早々と2ヶ月が過ぎました。生徒と過ごしていると、時間が飛ぶように過ぎます。新しい生徒をたくさん迎えた、入学・進級式がとても懐かしいです。写真を見返せば緊張でぎこちない顔をしていた生徒も、今は毎日ニコニコの笑顔で話しかけてくれます。

学生時代の私は、国語が好きで、好きなことをしてお金を稼ぎたいから教師を目指しました。ですが、今は、人が成長する姿を見られるから教師をしていると実感します。こんなにも神様の愛と生徒のエネルギーを感じる素敵な場所は、他にないのではないでしょうか。

高等部は、通信課題や進路に悩む機会が多いです。毎日、生活するだけでも大変で、自分の未来をゆっくり考える時間が割けなかったり、家族・友人の悩みの中で、神さまの示す道がわからなくなったりします。そんなときは、誰かにいち早く解決への道を示して欲しいですね。私が社会人になり、さまざまな悩みに向き合ったときも、そうでした。誰かに相談し、「こうすればよい」と具体的な策を示してもらいたいと思いました。私は母によく相談していましたが、母は、必ず一言目に「わかった、祈ろう」という人です。とてもやきもきして、祈るよりも何か具体策を！と迫ったことが何回もありました。今になって思うのは、何よりもまず、祈ることが大切だということです。

焦りや悩み、悲しみがあるときこそ、一度立ち止まり、自分から神さまに語りかける。そのとき、神さまは最善の方法とタイミングで必要な助けと平安を与えてくださいます。これは、やってみないことにはわからない安らぎです。

最近、ニュースで「ウクライナ」や「ロシア」の文字を見ない日はありません。この令和の時代に、戦争が起きていることや、その情報・映像がタイムリーに届くことは、とても恐ろしく感じます。しかし、同時に、自分のこととして捉えろ、という強いメッセージを感じます。

戦争や紛争について、私が考え始めたのは高校2年生からでした。井伏鱒二の小説『黒い雨』が課題図書になり、修学旅行で広島へ行きました。資料館で見た、やけ煤けてボロ切れになったこども服と、変形し中身が炭化した弁当箱を覚えています。たった一瞬で日常が奪われることをイメージした、最初の経験でした。

次いで、高校3年生のとき、学内研修でカンボジアに行きました。ポルポト政権が虐殺を行ったキリングフィールドは、下を見れば、白骨や衣類が土から出ている凄惨な場所でした。たった4、50年前に、人間が人間を殺していたと知識で知っていても、心がわかっていなかったと、その場に立って思いました。

日本に生まれ、戦争を経験していない私たちが、今何をすべきなのか。神さまの望む選択は何かを考えます。政治や世界史が専門ではない、世界に影響力などない、たった1人の小さな私です。ですが、私には、世界を変えられる、人を変えられる力を持った神さまがついています。あなたにも、同じ神さまがついています。

今、奉仕・総合の授業では、ウクライナとロシア、SDGs（飢餓）を取り上げて活動しています。戦争も、飢餓も、世界も、自分から関わりたいと思わなければ、身近にはなりません。調べて、知って、祈る。このスクールの良さは、このプロセスを実際に体験できることだと思います。これからのスクールの活動が守られ、連なる生徒・家族が守られ、祈りの力を知っている生徒たちが「神の子ども」としてこの世に遣わされていくことを、期待しています。

「平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。」マタイ5：9

6月のカレンダー

日	月	火	水
			1日 合同礼拝（1限） Tさん誕生日
5日	6日	7日	8日 開校記念日（休校）
12日	13日	14日	15日 学部別礼拝（1限） 特別授業「韓国文化体験」 10時～11時30分
	← 前期中間テスト（中高等部） →		
19日	20日	21日	22日 学部別礼拝（1限）
26日	27日 特別授業「世界宣教について」 （6限 中高H）	28日	29日 合同礼拝（1限）

- ・ 2日（木）、オープンスクール「スクール体験の日」を実施します。横浜市立小中学校が横浜開港記念日で休校のため、本校を体験してもらおうと企画しました。本校生徒の皆さん（小中高H生）は、通常登校です。オープンスクールの内容は、配布したチラシにて確認してください。下校は11時50分（昼食無し）です。
- ・ 8日（水）は、開校記念日で休校です。
- ・ 15日（水）10時から11時30分、ダイヤモンドチャペルにて特別授業「韓国文化体験」としてテコンドーを実施します。講師は、公益財団法人 KOREA GLOBAL ACADEMY YOKOHAMA のカン・ヒョンスン氏です。祝福をお祈りください。
- ・ 16日（木）、尿検査②を実施します。①で提出できなかった人は、必ず9時までに忘れずに提出してください。
- ・ 13日（月）～17日（金）は、前期中間テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 27日（月）6限、特別授業「世界宣教について」を実施します。講師は、アンテオケ宣教会総主事の太田裕作師です。良き学びの時となるよう、お祈りください。
- ・ 30日（木）～7月1日（金）、スクールリトリートを行います。小1～5は通い（クリスタルチャペル）、小6中高H生は宿泊（ダイヤモンドチャペル）で計画しています。詳細は、別紙を配布しますので確認してください。祝福をお祈りください。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムは、2日、9日、16日、23日の木曜日13時15分～14時30分、サッカースクールエスペランサの小屋にて行います。2日はオープンスクールのため、午前授業ですが、参加できる方がいましたら鈴木、雨宮久美子までご連絡ください。



木	金	土
2日 オープンスクール「スクール体験の日」 保護者、スタッフ向けイベント(13時15分～) Fさん誕生日	3日 委員会	4日
9日 保護者、スタッフ向けイベント(13時15分～)	10日 クラブ Yさん誕生日	11日
16日 検尿② 保護者、スタッフ向けイベント(13時15分～) Kさん誕生日	17日 クラブ	18日
23日 保護者、スタッフ向けイベント(13時15分～)	24日 クラブ	25日
30日 スクールリトリート(1日目)		

子育てnote

今私は、三日間ほどの検査入院で、とある病院で生活しています。今日は、その三日目ですが、とても快適で気持ちの良い日々を過ごさせて頂いたな、と感動しています。と言いますのは、この病院、特に入院病棟で支えてくださっている方々一人一人が、私を大切にしてくれている、私に仕えてくださっている、ということを経験や会話の場面で感じたからです。その姿勢は、私に対してだけでなく、同室におられた、いくら言ってもなかなか分かってくれない、おかしな行動をとる認知症のおじいさんに対してもそうでした。思うのは、おそらくこれは、この病棟を管理する立場にある人から流れ出ているものだな、ということです。自分自身が大切な存在として受け止められている、周りの人達が自分に仕えてくれていると感じると、自分の内側にもやはりそのようにして接していきたいな、という気持ちが沸き起こってきます。

病院とは、人々の病気を治療するという場であるだけでなく、病がきっかけでこの場所にくる人々に対して、その心を明るくし、希望を与えるという役割もあると思います。ですから、雰囲気大切です。私たちの家庭もそのような場ではないでしょうか。ひとたび家を出て行くと、そこには競争や争いや困難が待ち受けていることが多々あります。でも家に帰ってくると、自分が大切な存在として受け止められ、互いに仕え合う関係があるなら、新たなエネルギーも与えられます。一方で、誰のおかげで飯を食ってるんだ…とか、この家は私の切り盛りで何とかなっているのよ…といった姿勢で接してこられると、自分はお荷物なんだ…と感じたり、無用な存在なんだと感じてしまいます。私たちの心の中の、物事の見方が大切です。家族は、互いに神様からの賜物です。ましてや、子どもたちは特にそうです。お互いが、自分は大切な存在なのだ、と自然に感じるような、丁寧な言葉かけを家族の互いの間でしていきませんか。すでにご存知だと思いますが、以下が私たちのスクールがモットーとしている聖書の言葉です。

「あなたは高価で尊い。私はあなたを愛している」(イザヤ書 43:4)

校長 月井博

